

令和7年が終わろうとしています

二島中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、校長の児島です。あとわずかです。二学期が終わります。生徒の皆さん、先生方、支えてくださった保護者や地域の皆様に、心から感謝したいと思います。

長かった二学期の中で、授業、部活動、学校行事など、多くの場面で皆さんが一生懸命に取り組む姿を見て、私も大変うれしく感じました。特に10月の文化発表会は、それぞれの学年での団結力や創造力が存分に発揮された、本当に素晴らしい発表会だったと思います。冬休みが始まりますが、健康に気をつけ、家族や友人との時間を大切に、心も体もリフレッシュできることを願います。また必ず、皆さんの元気な姿を見られることを楽しみにしています。

○ 高校に提出する調査書について

右の図は令和8年度入学用高校統一調査書です。進路決定に向け、今回はこの調査書について説明したいと思います。

「学業成績の記録」には、1学年と2学年の成績を記入する欄があります。つまり、「1, 2年生の成績も調査書には記入される。」ということを知っておいてください。ですが、やっぱり大切なのは、3年生になってからの頑張りです。

また、3学年には9教科の評定合計を記入する箇所があります。つまり受験では、9教科すべての合計が大切ということです。人にはそれぞれ、得意科目や不得意科目がありますが、ここで言えるのは9教科すべてが同じ重さであり1つ1つが大事だということです。得意な科目だけ勉強して、苦手な科目をおろそかにするようなことがないようにしよう。

最近の高校入試では「特色化選抜」や「推薦入試」などの制度が多様化し、評定の内容を重んじる高校が増えてきたように思えます。皆さんにとって評定とは「通知表」の中身です。そこには皆さんの毎日の頑張りが3つの観点から評価され、数値化されています。それを自分の将来に、どう役立てていくか、保護者懇談会や担任の先生との話をとおして、しっかり考えて欲しいと思っています。

The image shows a detailed survey form for high school entrance. It includes sections for student information, academic performance, and extracurricular activities. Two callout boxes are present: one pointing to the 'Academic Record' section with the text 'ここに注目' (Pay attention here), and another pointing to the 'Total Evaluation' section with the text '評定合計' (Total evaluation).

○ 今年の漢字は「熊」でした

修学旅行でも訪れた、京都の清水寺で発表される今年の漢字には「熊」が選ばれたのは、皆さんよく知っているでしょう。

日本各地でクマによる被害者数が過去最多を更新し、里山のみならず住宅地での目撃情報も相次ぐなど、国民の暮らしを脅かしたことがあらわれた結果だということです。九州地区に野生の熊は生存していないということですが、油断は禁物ですね。



【11月の修学旅行で訪れた清水寺】

さて、皆さんが「今年の漢字」を選ぶとしたら、何になるでしょうか。児島は「島」を選びたいと思います。これは、児島の「島」であり、二島の「島」であり、今年初めて訪れた石垣島の「島」でもあります。私にとって、令和7年は島に結び付く思い出が多かったと感じました。